



第136回ミニゼミ

テーマ:「本好きあつまれ!こんな本どうでしょ?」く本をサカナに井戸端会議?

企画進行 間 裕子

十一月十九日(土)、中央公民館視聴覚教室で開催しました。参加者は十七名。

第一部では四人がそれぞれお薦めの本・作者・あらすじ・印象に残ったことなどを約十五分間発表。以下は推薦本・作者・出版社の順・あらすじ・推薦者の感想等になっています。

(1)『国銅』上・下 帚木蓬生 新潮社
奈良の大仏を造るために周防の国から棹銅を都まで運び、大仏造りに携わった若者・国人が様々な経験をする。

推薦者 桑澤芳江

(2)『あつかったらぬげばいい』

ヨシタケシンスケ 白泉社

「くだったら…すればいい」という短い文の繰り返しだが奥が深い。子ども達も面白い大人にも考えさせる。

朗読及び推薦者 二村美香

(3)『泳ぐのに安全でも適切でもありません』

江國香 集英社

10の短編恋愛小説が収められている。色々な人生があつてよいのだ、自分が選択していけばいいのだと思わせられた。

推薦者 西尾妃紗加

(4)『忍者の大研究―秘密をさぐる』

黒井宏光 P H P 研究所

女の忍者を“くのいち”とも言うが語源は?

戦国武将が忍者を重用したが、とくに武田信玄が有名である。忍者の始まりは聖徳太子の時代から現代の007まで続いている。子ども対象の本だが大人が読んでも面白い。

推薦者 西尾嘉浩

ジャンルや形式は発表者にお任せでした。それぞれの発表後、参加者からの質問や感想が交わされました。(1)ではこの小説のもとになった資料は何か?国家鎮護のためとはいえ、大勢の民衆を地方から集めて巨大なものを作る意味があるのか?(2)では絵本は読む人が想像をふくらませることが出来る。(3)では人生そのものが安全でも適切でもないのかも。(4)では発表者が忍者に扮したパフォーマンスが楽しかった等の意見が出ました。

第二部は井戸端会議。『内は出席者お薦めの書名。』

(1) NHKラジオ「高橋源一郎の飛ぶ教室」は本選びの参考になるのでお薦め。

(2) 『中学生から知りたいウクライナのこと』本を通して時代を知ろう。

(3) 本を通して自分を解放する。

(4) 長生きをするためには恋愛小説を読もう。『田辺元・野上弥生子往復書簡』『迷路』

(5) 『生命とは何か』『ありえない138億年世界史』プーチン大統領に読ませたい本。

(6) どんな本を読んでも無駄はない。『植物図鑑』

気楽に本の話をしよという趣旨で開いた会でした。年に一度はあつても良いなあと思えます。子ども達の読書会を開くのも面白そうです。

予告! 第137回ミニゼミ

「遠くて近い国 ブラジル第2弾!」

「中津川市民にとってブラジル(レジストロ市)とは? 日本とブラジルとの交流50年の講師が語る!」

講師.. 中津川市姉妹都市友好推進協会

参与 渡辺淳二さん

☆開催日時.. 2月18日(土)

午後1時半~

☆場所.. 中央公民館4F視聴覚室

旧来ブラジルのイメージは、リオのカーニバル、アマゾンの大自然、移民の国、サッカーが強い国というものでした

今、独立してから200年、広大な国土、豊富な地下資源、自給自足の農業資源、世界第5位の人口を持ち、更に製造業や環境・情報の技術革新も遂げています。

日伯交流50年の講師からお話しをお聞きます。この機会をお見逃しなく!



只今、図書館内展示中!

図書館くらぶ員のお勧めの本 「トベシンザエモン」

『下天は夢か』 (津本陽)

中野正道

織田信長の人となりと生き様が生き生きと描かれた、歴史小説の傑作で、津本陽の出世作でもあります。

多くの方が読んでいるし、歴史小説を楽しみたいと言われる方には、必読でしょう。今回はそれではなく、この大作の中のほんの数行が、私の子供の頃を思い出させた数行だったという話です。

小学生く大学時代、父親の勤務の関係で、名古屋市南区で過ごしました。近くに有名な笠寺観音がありました。町内に、「トベシンザエモン」という名の小さな公園があつて、子供の頃は、ここでよく遊んだものでした。その一角だけが、石垣で盛土されていて、中央に石組で少し高い場所もあり、樹木もあつて、おっかけっこなどの遊びに最適で、長つたらしい変な名前の公園でしたが、子供心には、全く気にすることなく、自然に、「トベシンザエモン」へ行くぞくなどと、言っていました。中学生になり大学生になり、遊ばないようになつて、「トベシンザエモン」は、いつしか記憶の片隅に追いやられました。

『下天は夢か』を読んでいたとき、以下の描写が、出てきました。「かつて笠寺城の守将をつとめていた、今川の謀将戸部新左衛門が生きておれば、田楽狭間の敗北はなかったはずであつた。義元が、信長の謀計に乗せられ、偽書を信じ戸部を裏切者として、取り調べることなく処断したことが、悲運の端緒を作つたわけであつた。」

最初は、あの「トベシンザエモン」公園には、結び付かなかつたのですが、「笠寺城の守将の戸部新左衛門」に興味を感じ、調べていて、はつと気が付きました。あの「トベシンザエモン」は、「戸部新左衛門」で、あの遊んだ公園は彼の居城戸部城の城址だったことが分かり、歴史的な遺跡を格好の遊び場として、粗略に扱っていたことを申し訳なく思いました。

別の意味での読書の楽しみを味わえることを知りました。なお、戸部城は別名笠寺城とも言われ、津本氏は笠寺城と書いています。それらの疑問を検証するのも、読書の楽しみの一つかも。



戸部城址&戸部新左衛門政直の石碑公園

市民交流プラザの運営について お聞きしました！

12月16日(金)午後3時半から5時まで、中央公民館学習室にて、安藤嘉之さんから新しい施設の運営についてお聞きしました。

キーポイントはプラザの4つの機能のつながりを構築できるか、また図書館機能がその中心に出来るか力量が求められると感じました。くらぶ員からは、「教室の予約がスムーズにできるのか？」また「駐車場の確保(立体化)やプラザまでの雨よけなど、身障者や高齢者への配慮が必要」などの意見も出ました。

☆花ボランティアの活動

毎週火曜日と金曜日に生花を持ち寄り館内10ヶ所に飾っている。

図書館くらぶ女子会の活動。

写真は万葉歌「椿」



元気な街には 充実した図書館あり！

素敵な街には 素敵な図書館があり！

図書館は0歳〜100歳みんなの居場所です！

図書館くらぶ 会長 桑澤宏康

TEL (66) 0249